



こうやるんだよ！



ふ〜!

### エピソード

Aくん、Bくんがシャボン玉の所へ来て遊び始めました。そこへ、3歳児のCくんがやってきストローでつくったシャボン玉の道具を手に取りました。シャボン玉の液をつけ、息を吹きかけましたがうまくできません。Aくん Bくんはその様子をじっと見ていました。そして Aくんは「こうやるんだよ」と優しく息を吹きかけてシャボン玉ができる様子を見せました。それを見て、Cくんがもう一度息を吹きかけると、さっきより大きなシャボン玉ができそうなところで割れてしまいました。Bくんは「割れたら目に入っちゃうかもしれないから気を付けてね」と言いました。Aくんが何度もシャボン玉をつくらしている横で、Cくんは繰り返し息を吹きかけています。しばらくして、Cくんのシャボン玉ができ、飛んでいきました。Aくん Bくんは「すごい！すごい！」と声を出してシャボン玉ができたことを喜びました。

### 保育者の思い

- ・3歳児の友達がシャボン玉に興味をもち遊び始めたことをきっかけに、異年齢の子とも関わりが生まれてほしいと思いました。
- ・年下の子へ、優しさや思いやりをもって関わってほしいと思いました。
- ・年下の子へ思いやりをもって関わっている姿を受け止め認めたいと思いました。
- ・友達の成功体験を喜ぶ姿に、成長を感じました。

### 子どもの育ちや学び

- ・3歳児の遊んでいる様子を見守り、自分なりに遊びの方法を伝えていました。
- ・年下の友達に対して心配したり思いやりする気持ちをもって接していました。
- ・自分たちが見守ったり知らせたりしたことで、シャボン玉ができたことを自分達のことのように喜んでいました。
- ・シャボン玉ができるまであきらめずに根気よく、3歳児を見守ろうとする姿がありました。

### 家庭だったら・・・

こども園では、同じ学年の友達だけでなく異年齢の友達との関わりも生まれます。自分の知っていることを年下の子に話す子どもの姿を見て、思いやる気持ちが自信につながっているのだと感じました。日々の生活の場面でも、子ども達の思いやりの気持ちを見つけてみませんか。